

平成 27 年度墨田区立竪川中学校経営報告書

平成 28 年 3 月 14 日

学 校 目 標	徳育・知（智）育・体育の調和のとれた、人格の形成をめざす
目 指 す 学 校 像	授業が充実し、生徒と生徒、生徒と教職員の間に信頼関係のある学校
目 指 す 子 供 像	①心豊かな、美しい感性をもった生徒 ②意欲的に学習する生徒 ③たくましく、何事もやりぬく生徒
目 指 す 教 師 像	人権意識を高め、生徒や保護者を中心にして、現実を直視し情熱をもって職務を遂行する教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
各教科等指導	学校は、子供たちに確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	学力向上に向けて、次年度は全教員が年一回以上、他校に出かけて指導教諭等の授業研究を行い、その成果をミニ研修会で伝達講習を行い、全員の指導力向上を図る。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	ケース会議や、年度当初の生徒理解研修会で時間をかけて情報共有をさらに深める。その結果を踏まえて個別の指導計画を充実させる。	A	A
	学校は、子供たちの将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	都の SC と区の SC との情報共有の仕方を工夫する必要がある。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	学力向上に関する取組が徐々に成果を上げていると考える。相談体制も整っている。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
生活指導等	学校は、子供たちの問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	各学年からの情報共有をさらに進め、現在の落ち着いた状況から、さらに挨拶の励行を進める。	B	B
	学校は、子供たちが基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	道徳授業推進拠点校としての取組を中心に、さらなる道徳授業の充実を努める。	B	B
	学校は、子供たちの安全を確保するための取組を行っているか。	A	SNS 禁止の徹底をさらに進めるために、保護者への啓発活動を充実させる。	A	B
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	保護者向けアンケートの実施方法に海瀬如知があり、次年度の内容を全面的に改善していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	「わからない」の項目を設けてはどうか？という記述があった。以前は「わからない」の項目を設けていたこともあったように思うが、今はあえて設けていないものと思われる。何故「わからない」の項目を設けないのかあらためて説明して頂けるといいと思う。一案として、未回答という項目を設けてはどうか？			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	一部の人間に仕事が偏らないように、一役一人の分掌組織作りをしていく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	絶対評価の精度を上げる必要がある。新しい教科書に移行する今年は、評価基準の見直しを行う。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	古い校舎ではあるが、適切に管理されているが、次年度のバリアフリー化に向けて、必要な設備を整えていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	校長の方針が明確に伝えられており、職員も元気に仕事をしている。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	学年便りの毎週発行が滞っていた学年もあるので、全学年統一して発行する。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	A	チーム縦中として、学校を取り巻く大人達の力をさらに結集しやすいように、情報発信に工夫を加える。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	チーム縦中として、地域も声を届けやすくなった。これからも継続してほしい。生徒の挨拶を指導してほしい。			

2 平成27年度学校評価のまとめ

生徒の学力向上に向けた取組が定着しつつあり、基礎学力の定着から、「考える力」の育成へとつなげることが課題である。生活指導においては、小学校との連携を深め、一貫した姿勢で臨む必要性が出てきた。家庭や地域との連携は、生徒を地域で活躍できるように育成することが課題である。

組織的な学校運営には、集団として資質の向上を全員が心がけられるように、目的意識をもった教師集団となることが課題である。

以上の通り報告いたします。

墨田区立竪川中学校 校長 西村 均 印